



一般質問

ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、12月12日から13日までの2日間行われ、8人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。掲載は質問順としています。

校区コミュニティの

現状と課題は

貝田晴義 議員

答 当面全校区の設立 をめざす

問 「校区コミュニティ」は下妻、水田、古川、古島、二川、筑後北校区が設立されているが、

その現状及び課題について市の見解は。

地域支援課長 平成21年度より着手した。その他事業（校区民会議、校区福祉会）の統合問題等があるが、当面は全校区での設立を急ぐ。

「行政区」「市」との 役割分担、位置づけは

問 「校区コミュニティ」「行政区」「市」の関係が三角形が一線上にあるのか位置づけが不明瞭ではないか。また地区別モデルを示すべきでは。

地域支援課長 地域性を考慮し、自治組織であることを基本に担当職員に

各協議会との話し合いを進めるように指示している。

問 ボランティアを基本としつつも、将来的な役員の「手当」や活動拠点としての「館」についての見解は。

地域支援課長 協議会活動が活発化すれば、とは

思うが、当面現状でお願いしたい。

市長 筑後市は定住人口増を目標としている。

「住みよい地域」づくり
に「校区コミュニティ活動」は重要と認識しているので、筑後市らしいコミュニティ協議会づくり
に頑張っていきたい。



地域の協力を得て利用している
二川校区コミュニティ協議会の入っている建物